

『かわら版』  
第19回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みなさんの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。  
「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みなさんが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切です。**

7分野の取組「自殺予防」

自殺予防

我が国の平成27年の自殺による死亡者は約2万3千人。  
本市においても、毎年100人前後（中でも働きざかりの50～60歳代が多い）と深刻な社会問題となっています。

自殺対策は、「生きる支援」です。さまざまな関係機関が無料の相談窓口を開設しています。  
(市のホームページ(下記QRコード)を参照) まずは、相談してみませんか?



第2回

法律相談や  
こころの相談など

暮らしに役立つ!

生活とこころの無料悩み相談会&ミニレクチャーを開催しました!

自殺予防週間に合わせて、平成29年9月11日(月)～9月15日(金)に夕方18時～、鹿児島市勤労者交流センター7階(よかセンター)にて行いました。

●臨床心理士によるミニレクチャー「ストレスについて考えよう」

- ・自分に現れるストレス反応を知っておくことも大切です!
- ・ストレスは「悪者」にもなるが「人生のスパイスにもなります」



●弁護士によるミニレクチャー「借金で困った時の対処法」

- ・借金や消費者トラブルで困ったら一人で悩まず、警察や各相談機関へすぐに相談しましょう。

相談に来られた方からは、「来てよかった」「悩みを相談できた」との感想がありました。まずは、一人で悩まず、誰かに相談することが大切です。



セーフコミュニティ情報お届け掲示板

『第3回セーフコミュニティ推進フォーラム』を開催しました!

第2部 パネルディスカッション

セーフコミュニティの取組をより多くの方に知っていただくため、7月18日、『セーフコミュニティ推進フォーラム』を開催しました! 地域組織の代表や関係団体など、約380名もの多くの方に出席いただき、会場は熱気につつまれていました♪

第1部 講話

題:「セーフコミュニティに地域で取り組むメリット」

講師:白石陽子氏

(日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事)

- 「協働の体制」「体系的な取組の仕組み」「人、地域の力」の3つの基盤がセーフコミュニティの特徴です。
- 地域のことを一番理解している地域の方々が主体となって、セーフコミュニティに取り組むことで、成果(安全向上)が見えてくるし、楽しんで取り組んでもらえると思います。

- 地域の実情・実態を把握することが、交通事故や犯罪の抑止につながります。
- 既存の組織を上手く使っていただき、そこから取組を広げていくことが重要です。

美園 竜一氏

(鹿児島県警第6方面交通安全課長、交通安全推進員)

- セーフコミュニティに取り組むことで、ボランティア団体等とのネットワークが構築され、活動の質の向上も期待できます!色々な方を巻き込みながら、取組を進めていきたいと考えています。

大山 貴氏

(鹿児島地区コミュニティ協議会専任委員)

堀之内 克行氏

(鹿児島市地域包括支援センター 地域課長)

- セーフコミュニティに取り組むことで、地域活動に意欲のある人や知識、技術を持った人の把握につながり、地域の担い手を発掘できます。
- セーフコミュニティを既存の組織や取組の一環とすることで、皆も参加しやすく、地域の負担も少なく取り組むことができます。



鹿児島市では、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティに取り組む、28年1月29日に国際認証を取得しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係(市役所東別館3階)  
TEL:099-216-1512 FAX:099-226-0748